



令和5年10月19日（木） 岐阜県発表資料		
連絡先	担当者	電話番号
岐阜県次世代エネルギー産業創出コンソーシアム	坪井 大輔	内線 3622
商工・エネルギー政策課 エネルギー係		直通 058-272-8835 FAX 058-271-6873

「カーボンニュートラルに向けた脱炭素燃料の利用」 に関するシンポジウムを開催します（参加者募集）

2050年カーボンニュートラルの実現に向け、炭素を含まない水素やアンモニアなどの脱炭素燃料は、従来の重油や天然ガスに変わる新たな燃料として注目されています。

このたび、脱炭素燃料の安全な利用技術の開発を目標とする茨城大学カーボンリサイクルエネルギー研究センターより、センターでの取組みや脱炭素燃料の燃焼メカニズム及びその計測技術について紹介いただき、脱炭素化に向けた化石燃料からのエネルギー転換への足掛かりとしていただくため、下記のとおりシンポジウムを開催しますのでお知らせします。

記

- 1 日時 令和5年11月20日（月） 10：30～12：30
- 2 場所 岐阜大学工学部 204講義室（岐阜県岐阜市柳戸1-1）
- 3 内容
 - (1) 茨城大学カーボンリサイクルエネルギー研究センターの紹介と燃焼場でのレーザー計測
講師：茨城大学カーボンリサイクルエネルギー研究センター
センター長・教授 たなか こうたろう 田中 光太郎 氏
 - (2) カーボンニュートラル燃料燃焼時の化学反応機構解析
講師：茨城大学カーボンリサイクルエネルギー研究センター
副センター長・教授 さかい やすゆき 酒井 康行 氏
- 4 対象者 脱炭素燃料の利用や燃焼技術に関心のある事業者等
- 5 参加費 無料
- 6 定員 40名（先着順）
- 7 申込み <https://logoform.jp/form/T8mB/395717>
（申込期限：令和5年11月15日（水）17時まで）



8 主 催 岐阜県次世代エネルギー産業創出コンソーシアム
岐阜大学高等研究院地方創生エネルギーシステム研究センター

【茨城大学カーボンリサイクルエネルギー研究センター】

二酸化炭素を「回収」し、燃料に「合成」、エネルギーとして「利用」という循環システムに関する一貫通貫した研究体制を確立することで、カーボンリサイクル技術の社会実装を行うことを目的に、令和5年4月に設立。

〔公式 HP〕

<https://crerc.ibaraki.ac.jp/>



【岐阜県次世代エネルギー産業創出コンソーシアム】

大学などの研究機関が有するシーズと企業の技術をマッチングさせ、産学官連携のもと、市場を見据えた次世代エネルギー技術の開発、製品化を促進させることを目的に、平成26年9月に設立。

〔公式 HP〕

<https://www.pref.gifu.lg.jp/page/15035.html>



【岐阜大学高等研究院地方創生エネルギーシステム研究センター】

再生可能エネルギーの利用による CO₂ フリーエネルギーを、「つくる」、「ためる」、「はこぶ」、「つかう」の革新的コア技術を基盤に、「環境問題」と「エネルギー問題」を改善可能な新しいエネルギーシステムの研究開発を推進することを目的に、平成30年4月に設立。

〔公式 HP〕

https://www1.gifu-u.ac.jp/~g_resrc/

